

アルツハイマー病の治療はどのようなものですか？

治療は、薬を使う治療と使わない治療を組み合わせで行います。ご本人の生活を豊かにすることだけでなく、ご家族や介護する方の負担を軽くすることにもつながります。

どのような治療をするにしても、納得して治療を進めることが大切です。また、前向きに取り組むために、これからやりたいこと・楽しみなことなどを想像しながら治療に向かうとよいでしょう。

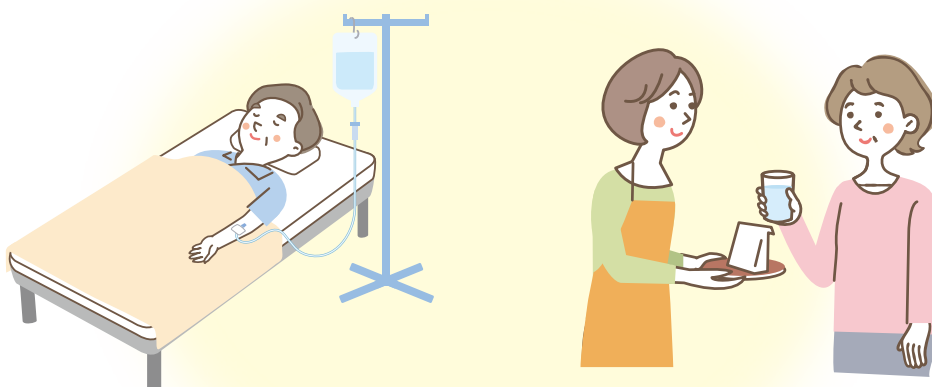
薬を使う治療(薬物療法)

● 病態の進行を遅らせるための薬

アルツハイマー病によるMCIと軽度認知症の方に使用する薬で、原因と考えられているA β を除去します。病気の早い段階から治療を行うことで、病気の進行を遅らせ、認知機能の低下をゆるやかにすると考えられています。

● 症状を緩和するための薬

認知症が発症してから使用する薬です。アルツハイマー型認知症の症状の進行を抑える目的で使用します。生活の困難さを軽減し、ご家族や介護する方の負担を軽くすることにもつながります。



薬を使わない治療(非薬物療法)

非薬物療法は、アルツハイマー病だけでなくさまざまな認知症の治療につながります。生活習慣の改善や、ご本人が興味を持っていることなど、今できること・やっていることを「続ける」ことが大切です。また、社会参加や周囲とのコミュニケーションも、頭と心を活性化させるよい刺激になるでしょう。

認知機能低下を予防できる対策として、WHO(世界保健機関)では以下の12項目をあげています⁴⁾。また、頭を使ったゲームなどの認知刺激療法、体を動かす運動療法、昔のことを思い出す回想法、音楽で不安を緩和する音楽療法、趣味を楽しんで気持ちを安定させるレクリエーション療法なども効果が期待できます。

【認知機能低下を予防できる対策(WHOの12項目)】⁴⁾

生活習慣の改善



身体活動



禁煙



健康的な食事



多量飲酒の減量・中断

その他の対策



認知トレーニング



社会活動



体重の管理



高血圧の管理



糖尿病の管理



脂質異常症の管理

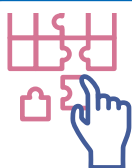


うつ病への対応



難聴の管理

【認知症のおもな非薬物療法】⁵⁾



認知刺激療法



運動療法



回想法



音楽療法



レクリエーション療法

4) Risk reduction of cognitive decline and dementia: WHO guidelines. Geneva: World Health Organization; 2019. License: CC BY-NC-SA 3.0 IGO. https://www.jri.co.jp/MediaLibrary/file/column/opinion/detail/20200410_theme_t22.pdf (2023年6月27日閲覧)

5) 日本神経学会 監修: 認知症疾患診療ガイドライン2017 (医学書院) 2017; p56-58, 69-70